

令和3年度一般会計決算（見込み）のポイント

1 決算規模

- 歳入 1兆 218億59百万円（前年度比+9.1%）
- 歳出 9,715億13百万円（前年度比+9.8%）
 - ⇒ 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策等に係る補助費等が増となり、これに伴って国庫支出金が増となったことなどにより、歳入・歳出ともに前年度を上回った。（図1, 2）

2 決算収支

- 実質収支 157億27百万円（②188億30百万円）
- 実質単年度収支 ▲ 30億45百万円（②121億64百万円）
 - ⇒ 行財政運営戦略に基づく歳入確保や徹底した事務の効率化等により実質収支は黒字となっている。実質収支から前年度の実質収支を差し引くなどした実質単年度収支は赤字となっている。

3 決算の特徴

【歳出】

- 人件費
退職者数の増に伴う退職手当の増や、新型コロナウイルス感染症対応等に伴う超過勤務手当の増などにより、増加（前年度比+0.8%）（図3）
- 補助費等
新型コロナウイルス感染症対策に要した経費の増や、地方消費税の収入増に伴う市町村交付金の増などにより、増加（前年度比+22.2%）
- 普通建設事業費
鹿児島市南部地区特別支援学校の整備が本格化したことや、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に対応した事業などの前年度からの繰越額の規模が令和2年度に比べ大きかったことにより、増加（前年度比+2.9%）（図4）
- 災害復旧事業費
令和2年度に発生した災害復旧事業の繰越額の規模が大きかったことにより、増加（前年度比+13.6%）（図5）
- 公債費
借入利率の低下による利子の減などにより、減少（前年度比▲0.9%）（図7）

- 義務的経費
人件費や扶助費の増により、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）が増加（前年度比＋0.6％）（図8）

【歳入】

- 県税
製造業等の課税所得の増に伴って法人事業税が増となったことに加え、税率引上げによる地方消費税の増などにより、増加（前年度比＋8.0％）（図9）
- 実質的な地方交付税（地方交付税＋臨時財政対策債）
地域デジタル社会推進費や臨時経済対策費が創設されたことによる基準財政需要額の増などにより、増加（前年度比＋8.4％）（図10）
- 国庫支出金
新型コロナウイルス感染症対策に係る国の補正予算等による国庫支出金が増したことや、前年度からの繰越額の規模が令和2年度に比べ大きかったことにより、増加（前年度比＋13.3％）
- 県債
防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に対応した防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債の減などにより、減少（前年度比▲10.5％）（図11）

4 県債残高・基金残高

- 県債残高
行財政改革の取組等により、本県独自に発行する県債の残高は、前年度に比べ30億75百万円減の1兆576億43百万円（前年度比▲0.3％）
また、総額は、臨時財政対策債及び減収補填債の残高の減少により、前年度に比べ68億41百万円減の1兆5,884億54百万円（前年度比▲0.4％）（図12）
- 財政調整に活用可能な基金残高
行財政改革の取組等により、250億円を確保（前年度比＋0.2％）（図13）